

欠損部補修・断面修復用速硬軽量モルタル

(下塗り：初期補修用プレミックスポリマーセメントペースト)

2材形

# キクスイ R L モルタル

(下塗り：キクスイメンテペースト)

UR都市機構 保全工事適合材料

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

NSK - 0307049 (キクスイ R L モルタル)

NSK - 0307050 (キクスイメンテペースト)

「キクスイ R L モルタル」は、混和液部と無機質系結合材を主とした粉体部で構成される2材形の欠損部補修・断面修復用速硬軽量モルタルです。優れた防錆性と付着性を有した「キクスイメンテペースト」と併用することで、露出鉄筋を伴う欠損部へも施工できます。

## 特長

### 01 優れた作業性

軽量であるため、軒天やあげ裏での施工が容易です。

### 02 優れた硬化性

施工翌日には、強度が発現し次の工程に移れます。

### 03 安定した品質

既調合の粉体と混和液をセットしていますので、安定した品質を確保できます。

## 用途

・コンクリート・モルタル等の欠損部補修・断面修復用

## 適用下地

コンクリート・セメントモルタル 等

### ●標準施工仕様

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	使用量
下塗り	キクスイメンテペースト 主 材：10 kg 混和液：5 kg	刷毛	1	適宜
欠損部充填	キクスイ R L モルタル 主 材：14 kg 混和液：1.4 kg 清 水：1.8～2.5 L	金ゴテ等	1以上	適宜

	単位容積質量	練り上り容量	塗厚
キクスイメンテペースト	約1.7 kg/L	約9 L	—
キクスイ R L モルタル	約1.6 kg/L	約11 L	25 mm以下 / 1回

(注) 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。



菊水化学工業株式会社

本社 名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル

<http://www.kikusui-chem.co.jp/>

欠損部補修・  
断面修復用  
速硬軽量モルタル

(下塗り初期補修用プレミックス  
ポリマーセメントペースト)

2材形

# キクスイ R L モルタル

## (下塗り:キクスイメンテペースト)

### 荷 姿

キクスイ R L モルタル	主 材	NET	14 kg	ポリ袋入
	混和液	NET	1.4 kg	ビニール袋入
キクスイメンテペースト	主 材	NET	10 kg	ポリ袋入
	混和液	NET	5 kg	ビニール袋入

### 施工上の注意点

- 「キクスイメンテペースト」の調合は、混和液 5 kg に対して主材 10 kg をミキサーで攪拌しながら徐々に加え、まま粉ができないよう十分混練して下さい。また、1回の混練量は夏期30分、冬期2時間以内に使い切れる量として下さい。
- キクスイ R L モルタルの調合は、混和液 1.4 kg に清水 1.8 L を加え主材 14 kg を高速ミキサーで攪拌しながら徐々に加え、まま粉ができないよう十分混練し、0～0.7 L の清水で適性軟度に調整して下さい。また、1回の混練量は 30～60 分以内(20℃)に使い切れる量として下さい。
- 攪拌機は 100 V、750 W 以上の馬力のある回転羽根つき(スクリュウ型)攪拌機又は、小型モルタルミキサーを使用して下さい。
- 欠損部の脆弱部を除去し、汚れ及び付着物は研磨紙、布及び水洗い等により除去して下さい。
- 鉄筋が露出している場合は、周囲のコンクリート等をはつり、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、次工程の防錆処理に進んで下さい。
- 下地処理が済んでいることを確認した後、露出している鉄筋部分には、キクスイメンテペーストにより防錆処理をしてください。
- モルタル、コンクリート等の被塗面は適当な水湿または吸水調整材を塗布してください。
- 「キクスイ R L モルタル」を塗り付ける前に被塗面には必ず「キクスイメンテペースト」を仲介接着剤として使用して下さい。
- 「キクスイ R L モルタル」の 1 回の塗り厚は 25 mm 以下です。それ以上厚塗りする場合は数回に分け、くし目を入れ硬化状態を見ながら塗り重ねて下さい。
- 「キクスイ R L モルタル」充填後、充填部と周辺の既存モルタル、既存コンクリートとの境界面(幅 75 mm)に 5 時間以上経過後、「キクスイメンテペースト」を刷毛塗りして下さい。
- 気温が 5℃ 以下の場合は施工を避けて下さい。
- 強風及び降雨、降雪の場合又はそれらが予想される場合は施工を避けて下さい。
- 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないようにして下さい。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行って下さい。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染や密着不良を起こすことがあります。詳しくは弊社営業所までお問い合わせ下さい。

### 注意事項(無機系下地調整材)

#### 【施工上の注意事項】

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率 10% 以下、pH 10 以下で施工してください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。
- 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアウトの原因となります。適当な水湿し、または下塗りを行ってください。
- 塗膜の乾燥硬化過程で水分の影響を受けた場合、(高湿度、結露、降雨等)塗膜表面に白華が発生する場合があります。施工場所の気温が 5℃ 以下、湿度 85% 以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部の施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 下地が弾性系塗膜の上には使用できません。
- 絶えず水分の影響を受ける場所への施工はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度の上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。
- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺(車や付帯設備を含む)や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 製品は空練りを行った後、練り混ぜを行ってください。
- 製品はミキサーでタマが残らないように十分に練り混ぜてください。
- 練り水及び希釈水は必ず清水を使用してください。
- 練り混ぜ後、可使用時間以内に使い切ってください。また、可使用時間は温度、希釈によって変わりますので、練り混ぜ後はなるべく早く使い切ってください。
- 可使用時間の過ぎた材料を、練り直して再度使用しないでください。
- 練り足し、水を加えての練り直しはしないでください。
- 既調合タイプに製品に現場で、セメント、砂等の指定材料以外を使用しないでください。
- 各種標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工してください。
- ローラー塗りの場合は、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、仕上がりが異なって見えることがあります。

- 被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈量などの違いにより仕上材の仕上がりに影響を与える場合があります。試し塗りの上、本施工してください。
  - 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
  - 使用後のコテ、刷毛やローラーは十分に洗浄してください。
  - 下塗材等で溶剤形の製品を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
  - 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。
  - 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。
  - 直射日光下や屋外、0℃ 以下の保管はしないでください。
  - 製品は、湿気に注意し、水がかりを避け、パレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。
- #### 【安全衛生上の注意事項】
- 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS(安全データシート:旧 MSDS) を参照してください。
  - 取扱後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
  - 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
  - 目の取扱時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
  - 皮膚については、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。
  - 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
  - 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
  - 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
  - 取り扱い中は、粉じんがたないよう注意し、また、取り扱い後は密閉した容器に保管してください。
  - 缶の取扱は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
  - 子供の手の届かない所に保管してください。
  - 塗料や塗料の付いた布などを処分する際は、法令に従い産業廃棄物として処理してください。
  - 塗料、塗装器具を洗浄した汚水、塗料の付いた布などはそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

取扱店

 **菊水化学工業株式会社**

本社 名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル  
☎ 052-300-2222(代)

仙台支店 ☎ 022-706-5710

東京支店 ☎ 03-3981-2500

名古屋支店 ☎ 0568-69-5200

関西支店 ☎ 06-7668-5320

福岡支店 ☎ 092-935-4610

●ホームページアドレス <http://www.kikusui-chem.co.jp/>

